

日本ミシェル・アンリ哲学会

第三回研究大会 プログラム

下記の要領で、日本ミシェル・アンリ哲学会の第三回研究大会を開催いたします。

今大会は、開催場所を再び関西に移し、京都の立命館大学を会場として開催されます。個人研究発表では、本郷均氏と榊原達哉氏が、それぞれ興味深いテーマで発表を行います。

さらに今大会では、当学会で初の試みとして、ワークショップが開かれます。昨年出版された川瀬雅也氏の著書『経験のアルケオロジー——現象学と生命の哲学』（勁草書房、2010年）にちやうじて、和田渡氏、杉山直樹氏、村瀬鋼氏が、フッサール、ベルクソン、メルロ＝ポンティに焦点を当てた発表を行い、川瀬氏を交えて討議します。アンリ哲学だけでなく、現象学と生命の哲学にわたる幅広い議論の展開が期待されます。

大会終了後には、懇親会も予定しておりますので、そちらへもふるってご参加ください。

なお、本学会の研究大会は会員以外の方にも開かれております（無料）。ミシェル・アンリの思想に興味をお持ちの方はどうぞお気軽にご参加ください。

日時：2011年6月11日（土）

会場：立命館大学（衣笠キャンパス）末川記念会館 第三会議室

【研究発表（午前）】

11:00～12:00

榊原達哉（徳島文理大学）

「肉」の現象学と「神」の現象学のあわいで
——ミシェル・アンリ最晩年期における肉と受肉
の問題」

12:00～13:00 昼食

13:00～14:00 総会

【研究発表（午後）】

14:10～15:10

本郷均（東京電機大学）

「内在と表現 アンリとメルロ＝ポンティの絵画
論（仮）」

【ワークショップ】

15:20～17:50

「川瀬雅也著『経験のアルケオロジー』（勁草書
房）をめぐって——アンリとフッサール／ベルク
ソン／メルロ＝ポンティ」

パネラー

川瀬雅也（佐世保工業高等専門学校）

「生命の現象学と〈経験のアルケオロ
ジー〉」

和田渡（阪南大学）

「ヒュレーと環境（生活世界）——アンリと
フッサール」

杉山直樹（学習院大学）

「多様性の経験論は何であり得るか——ベルク
ソンの立場から」

村瀬鋼（成城大学）

「世界の不思議と私の不思議——メルロ＝ポン
ティとアンリの〈間〉（仮題）」

司会

亀井大輔（立命館大学）

日本ミシェル・アンリ哲学会事務局

〒857-1193 佐世保市沖新町1-1 佐世保工業高等専門学校 川瀬研究室内

Tel/Fax : 0956-34-8436 E-mail : kawase@sasebo.ac.jp

ホームページ : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~michelhenry/>